

北九州市立菊陵中学校
学校だより
令和5年3月10日号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

3月9日(木)に、本校第76回卒業証書授与式が無事に終わりました。3年生ひとり一人の名前を呼ばれたあとの「はい」という返事が体育館に響く中、証書を受け渡す際には、しっかりと校長先生と視線を合わすことができました。そして、式後の群読や合唱は、まさに3年生らしい姿を見せてくれました。

ここで、卒業式で校長先生から3年生に伝えた『不易流行』について紹介します。1・2年生のみなさんにも、せっかくの機会ですから少し読んで考えてみてください。



保護者・地域の方々へ
無事に令和4年度も終わろうとしています。これも、保護者・地域の方々の本校教育活動へのご理解とご協力があったることだと思えます。本当にありがとうございます。
来年度も、コロナ禍が続くと思われませんが、さらに大規模改修や夜間中学開校準備もあります。それらにしっかりと対応しながら教育活動を進めてまいります。
是非、来年度も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。

3年前の春を思い出してください。3月から学校は全面休校となり自宅待機となりました。入学式は中止となり分散登校が実施されるなど、今まで学校が当たり前としてきた登校して、みんなで一緒に学び活動する前提がもろくも崩れてしまいました。あれから月日は経ちましたが、いろいろな制限や不自由さはあったものの、学校ではみんなで学び部活動もできるようになりました。そこには、みなさんがコロナ流行で失った時間や機会を挽回すべく懸命に努力している姿がありました。

これから大きく変化するであろう世の中では、これまでの習慣や常識に頼る考えでは実社会での活動にそぐわない点も出てきます。みなさんが次のステージに生きる中で、決まりごとや考え方に何か違和感を感じたら、一度立ち止まって考えてみてください。他人の意見を鵜呑みにせずに、自ら情報を集めて、自分で考えてみてください。いろいろな立場の人と対話して、いろいろな視点から少し掘り下げてみてください。いろいろな意見を持った人と交わり、話し合い、考えを共有していくことがこれからの世の中では欠かせません。そういう社会的な関係を、是非、みなさん一人ひとりが創っていきましょう。これが、私からみなさんに伝えたい「流行」です。

そして、「不易」は、3年間みなさんに様々な機会と言い続けてきた「感謝」と「自立」です。いろいろなことに感謝できること人、「ありがとう」と素直に言える人、そして、感謝される人、「ありがとう」と言われる人になり続けてください。また自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくという、自己実現力としての「自立」を意識してもらいたいです。「自分がやりたいこと」を「自分で見つける」のです。おうちの人や周りの人がやって欲しいことではありません。自分の人生を自分で展開するということができる人になってほしいです。

このような「不易」と「流行」は、それぞれ無関係のものではなく、「不易」があつての「流行」であり、「流行」があつての「不易」であることも忘れないでください。変化する世の中を生きていく力を支えていくのは感謝する心と自己実現の精神です。